

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	子ども体験活動事業					担当部	教育委員会事務局				
	会計区分	一般会計			事業類型	一般	担当課	生涯学習課				
	事業期間	平成13年度		～	平成30年度以降		担当係	青少年育成係				
	総合計画 分野別計 画	主目的	4 教育文化		17 生涯学習		3 健全な青少年を地域で育てる					
		副目的										
	予算区分	款	10	項	5	目	4	大	4	中	3	
	根拠法令・個別計画	生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画										
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営			<input type="radio"/> 地域住民組織			<input type="radio"/> 一部又は全部委託				
		指定管理・外郭団体			名称:							
		<input type="radio"/> NPO・その他			名称:小牧市子ども自然体験活動事業委員会 小牧市学校外活動運営委員会							
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	子どもたちが体験活動を通じて、子ども同士や大人との交流により社会性を育む。											
内容 (手段)	<p>○こども自然体験活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の参画により運営委員会を設置し、企画運営により事業を実施した。 ・自然体験活動(じゃがいもづくり、もち米づくり、魚とり、兒の森里山体験、アウトドア) ・22年度から参加者保険料を受益者負担として徴収した。 <p>○学校外活動運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの活動に、ポイントラリー制度を導入し、30ポイント以上の児童生徒にピンバッジを贈呈した。 ・ジュニアセミナーとして各種の体験講座と活動の成果発表会を実施した。 料理、手工芸、絵画、音楽、科学実験など年間19講座 21年度まで2期で募集していた講座を、22年度より通年とした。 ※手続きの合理化のため、他の子どもの講座と併せ、22講座を募集し、開講式を実施した。 <p>※各事業の事務局は生涯学習課である。職員は、市民と協働で事業に参加し運営した。</p>											
受益者負担	有	内容	参加者保険料、参加費、材料費									

			単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額
	コスト	直接経費		千円	5,763	7,558
正職員		従事者数	人	0.97	0.50	0.50
		人件費	千円	5,204	2,682	2,682
その他職員		従事者数	人	2.00	2.00	1.00
		人件費	千円	2,796	2,826	1,838
費用合計		千円	13,763	13,066	14,231	
対前年比		%		94.9		
財源	一般財源		千円	13,763	12,171	13,533
	国・県支出金		千円	0	0	0
	その他財源		千円	0	895	698

業 績	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23	
		自然体験事業	回	目標		7	7	6
				実績		7	6	
		ジュニアセミナー	講座	目標		30	19	18
				実績		30	18	
			目標					
			実績					
	成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23	
		自然体験活動参加者数(約)	人	目標		—	—	—
				実績		1,700	1,700	
ジュニアセミナー受講者数		人	目標		594	324	324	
			実績		623	350		

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	実施している半数以上の講座で、募集定員を超え、抽選を行った。また、リピーターによる応募も多い。 また、講座の活動状況をホームページで公表し、市民に周知できた。		
	事業を廃止・休止したときの影響	国の生涯学習審議会で「体験活動が豊富であるほど、思いやりや正義感が充実している」との調査結果の答申により実施しているものであるが、地域での活動がもっと広がれば、行政でやらなくても良いと思われる。		
	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	子どもたちの体験活動の場と機会を提供できた。また、講師やサポーターとして地域の生涯学習団体の協力を得ているので、大人と子どもの交流が図られるとともに、団体が学んできたことを地域へ還元する機会の場となっている。		
	今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	生涯学習団体を育成しながら、効率的に20講座程度のプログラムを用意できるよう、実施していく。		

二次評価	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	一次評価のとおり		